

「農業分野における人材・労働力確保についてのアンケート」
調査結果報告書

喜界町役場農業振興課

(1)アンケート調査概要

全国的にも農家の高齢化や、農業の担い手不足が喫緊の課題となっています。
本町の農業分野においても、人材・労働力確保について何かしらの対策を講じる必要があると感じています。

そこで本町の農家さんの現状を把握し、また今後の農業経営について考えを調査するためにアンケート調査を実施いたしました。

アンケート概要及び調査結果については以下の通りです。

◆調査期間

令和4年2月25日(金)～令和4年5月31日(火)

◆調査対象

認定農家・喜界町基本構想到達者 計189件

◆調査方法

区長便発送及び農業委員による回収

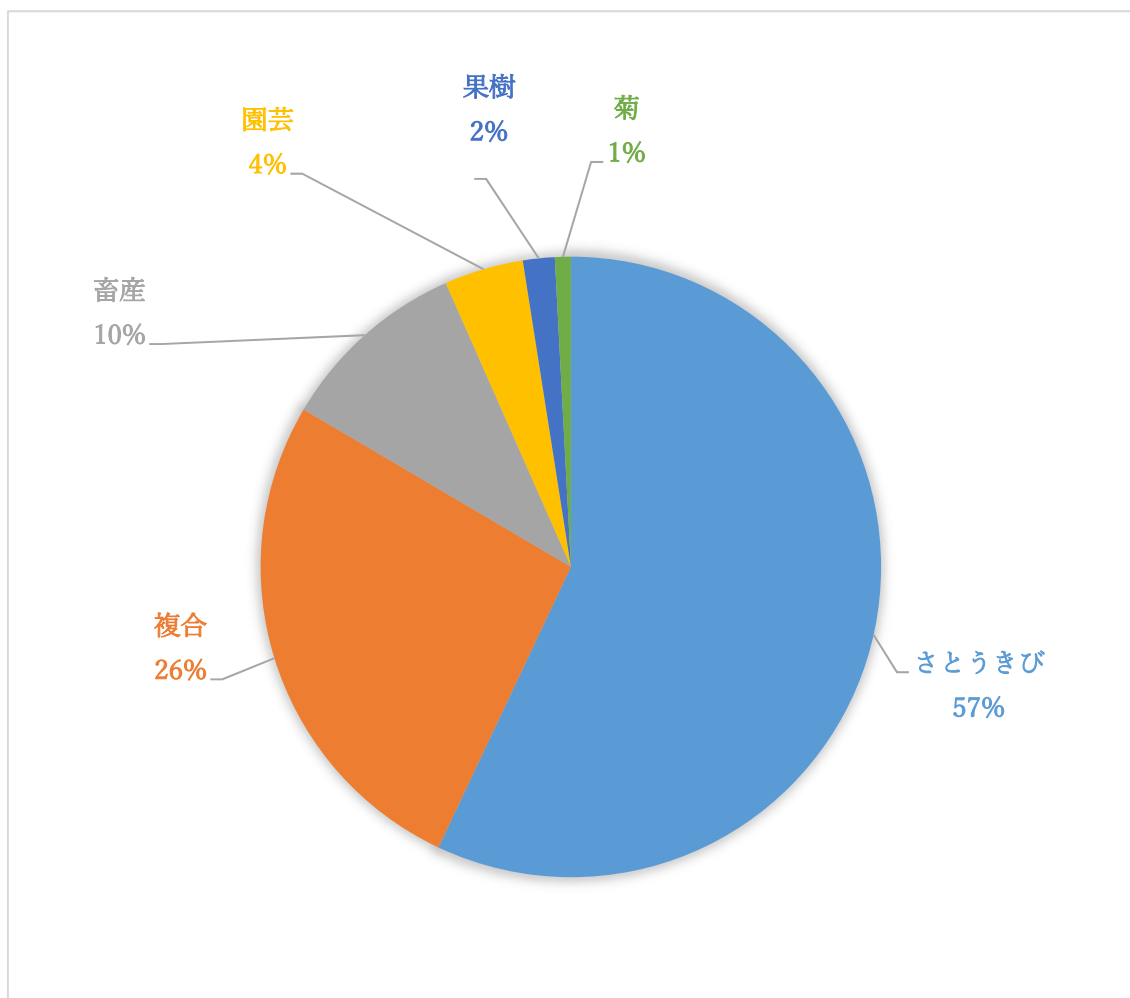
◆回収率

発送総数	189件
回収総数	122件
回収率	64.5%

(2)アンケート調査結果

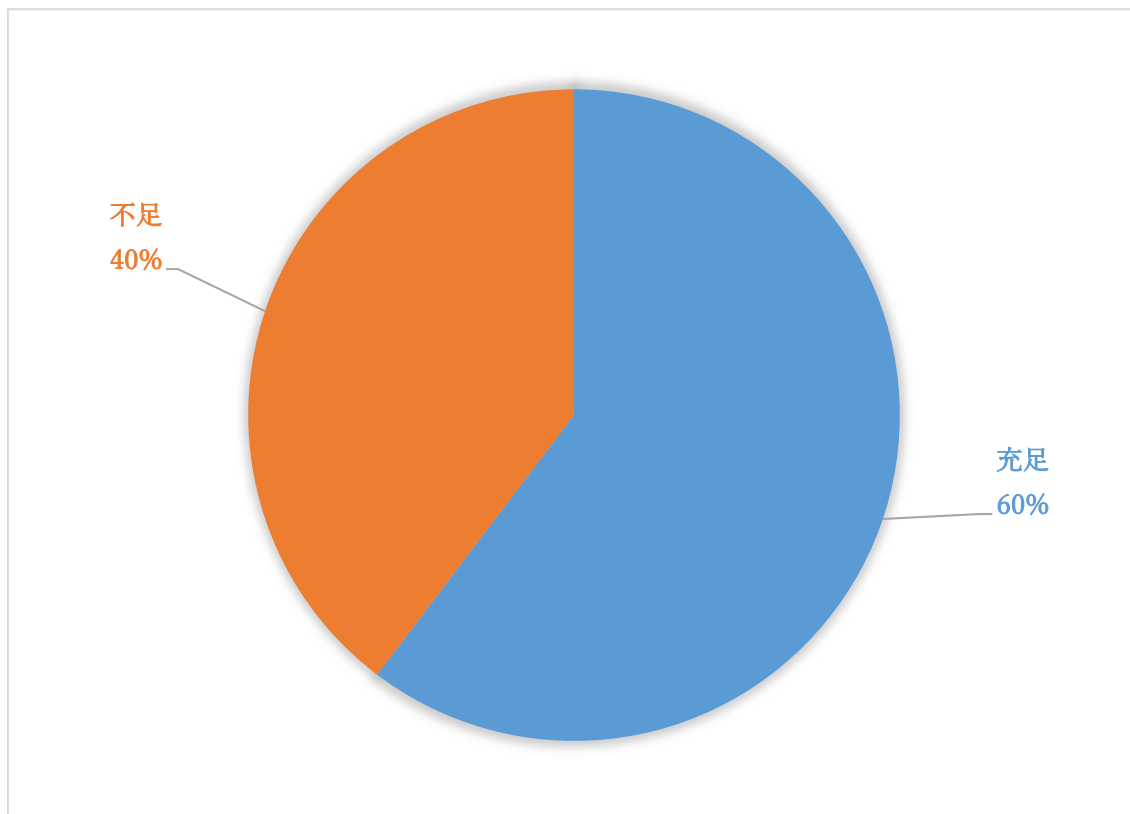
1. 営農作物について

今回の調査では、基幹作物である「さとうきび」を作っている農家さんが大多数を占めました。「さとうきびと園芸作物」や「さとうきびと畜産」など1人で複数の営農品目を作っている農家さんは「複合」扱いとしています。



2. 現在の人手不足の状況について

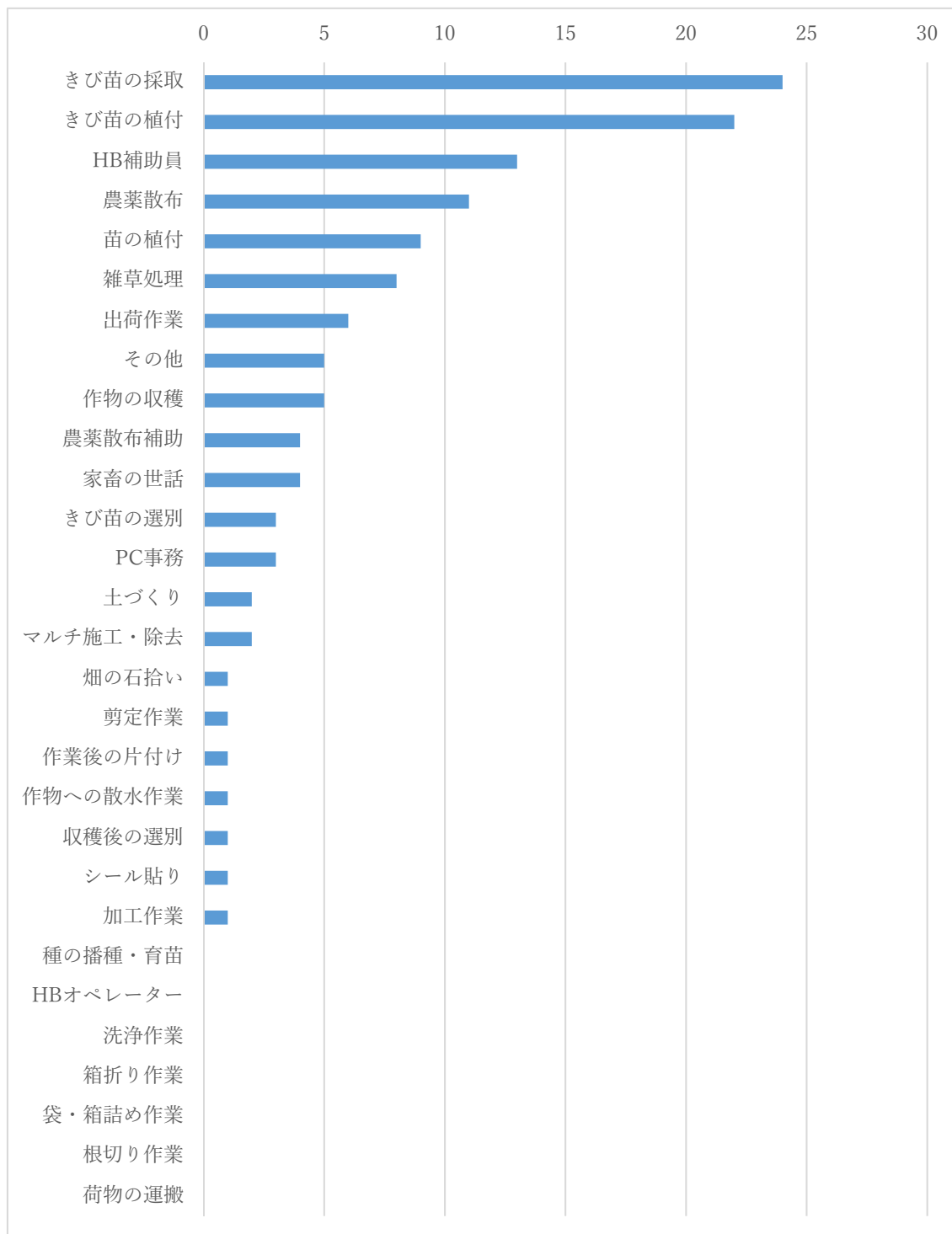
十分足りていると回答した方が73名、不足している回答した方が48名、未回答が1名でした。回答いただいた農家さんの約40%が人手不足になっている現状が分かりました。



問3. どのような作業が人手不足と感じていますかについて

さとうきび農家さんでは「苗取り、植え付け、ハーベスタ補助員」など作業全体を通じて人手不足と感じている結果となりました。

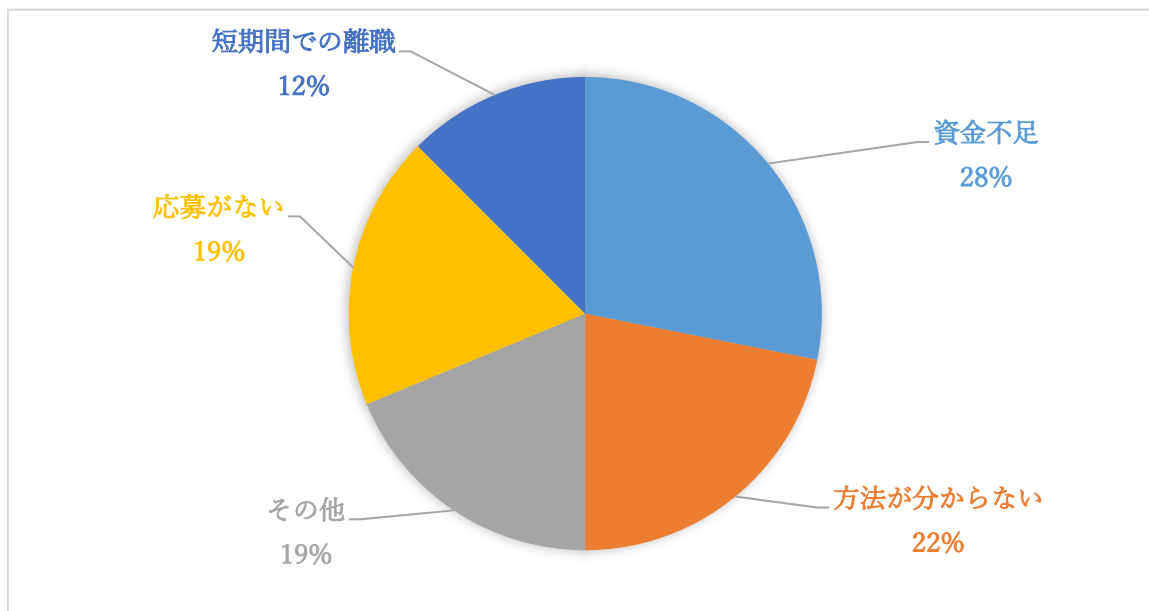
また「カボチャ等」の園芸作物の農家さんでも「植え付けや収穫」などで人手不足と感じている農家さんが多い結果となりました。



4. 人手が確保できていない理由について

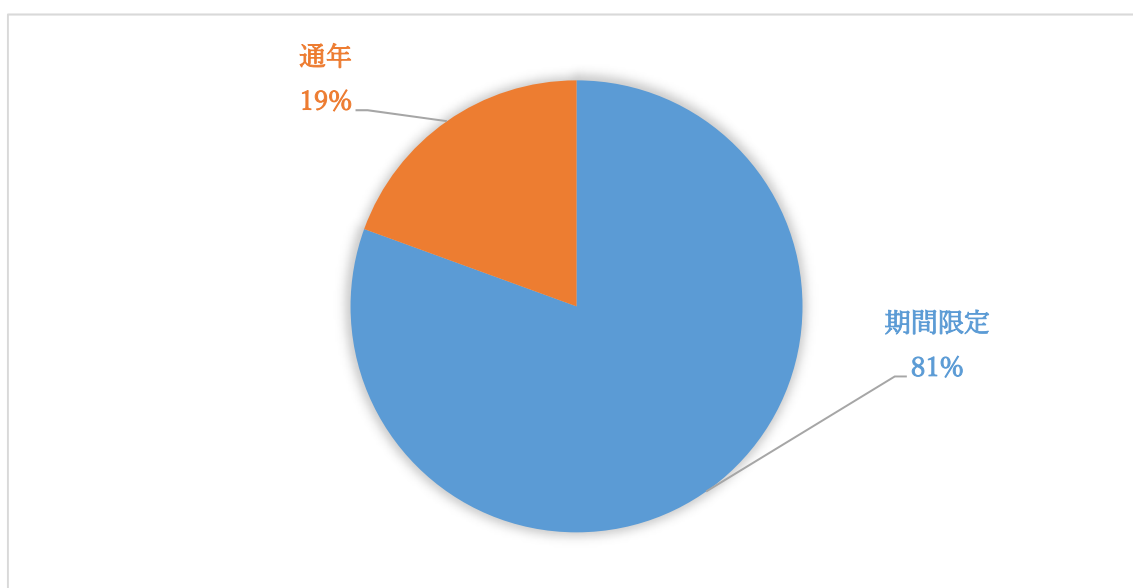
「資金不足」が理由で人を雇用できない農家さんが多いことが分かりました。

「方法が分からない」と回答した農家さんも多数いたことを踏まえ、農業振興課では令和4年5月から「無料職業紹介所」を開設し、無料で求人広告を出すことができる体制を整えておりますので、ご活用ください。



5. 人手が必要な時期について

通年で人手が必要と回答した農家さんも少数でしたが、80%以上の農家さんが期間限定で人手が必要としている結果となりました。

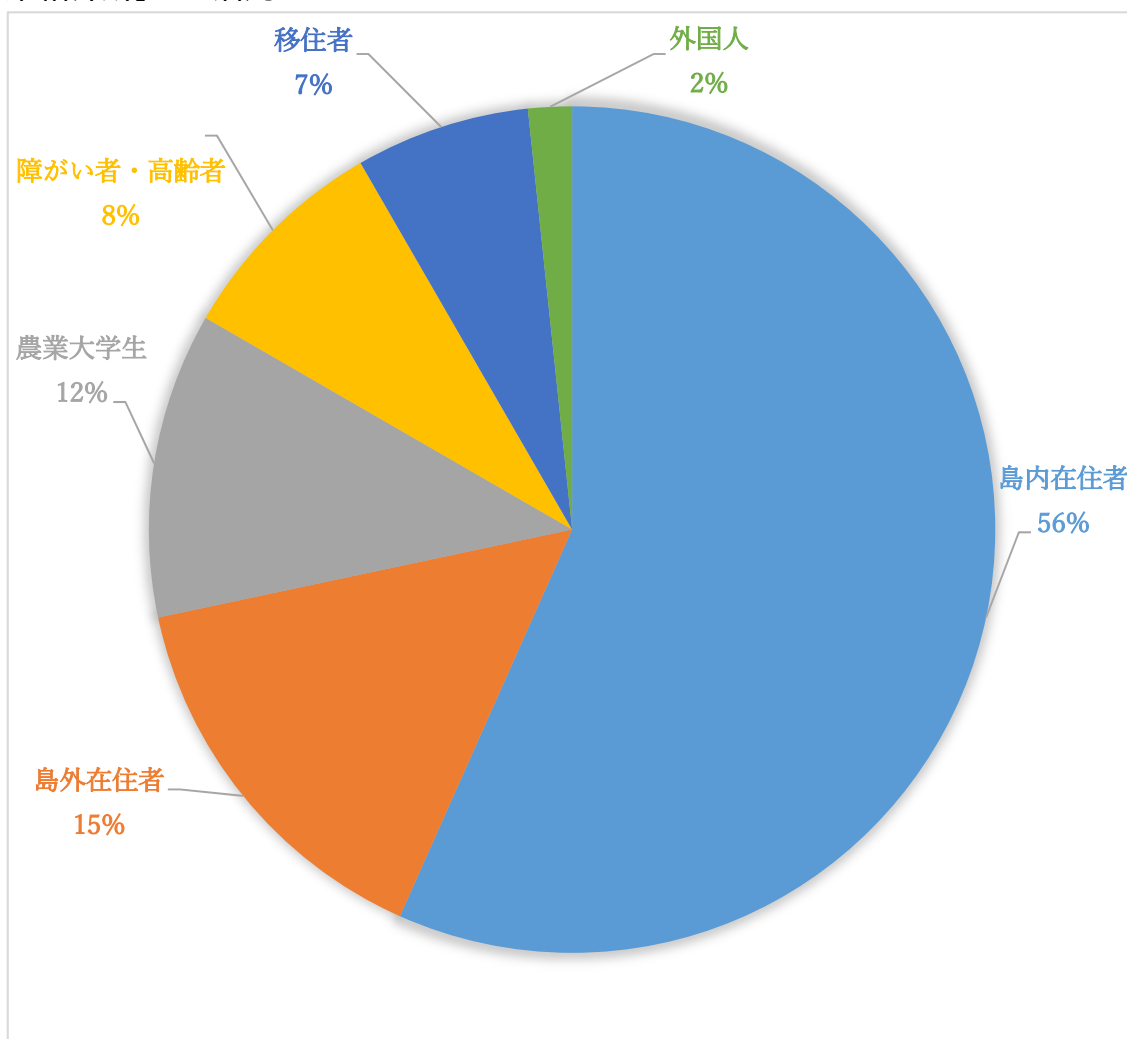


6. 働き手として希望する人材について

人材については、【島内在住者】を雇用したいという回答が60%近い結果となりました。

【移住者】や【島外在住者】を雇用したいとの回答が20%近くありましたが、本町の農業分野の求人がインターネット等に公開されていないため、分かりにくく検討されにくいという現状課題があります。

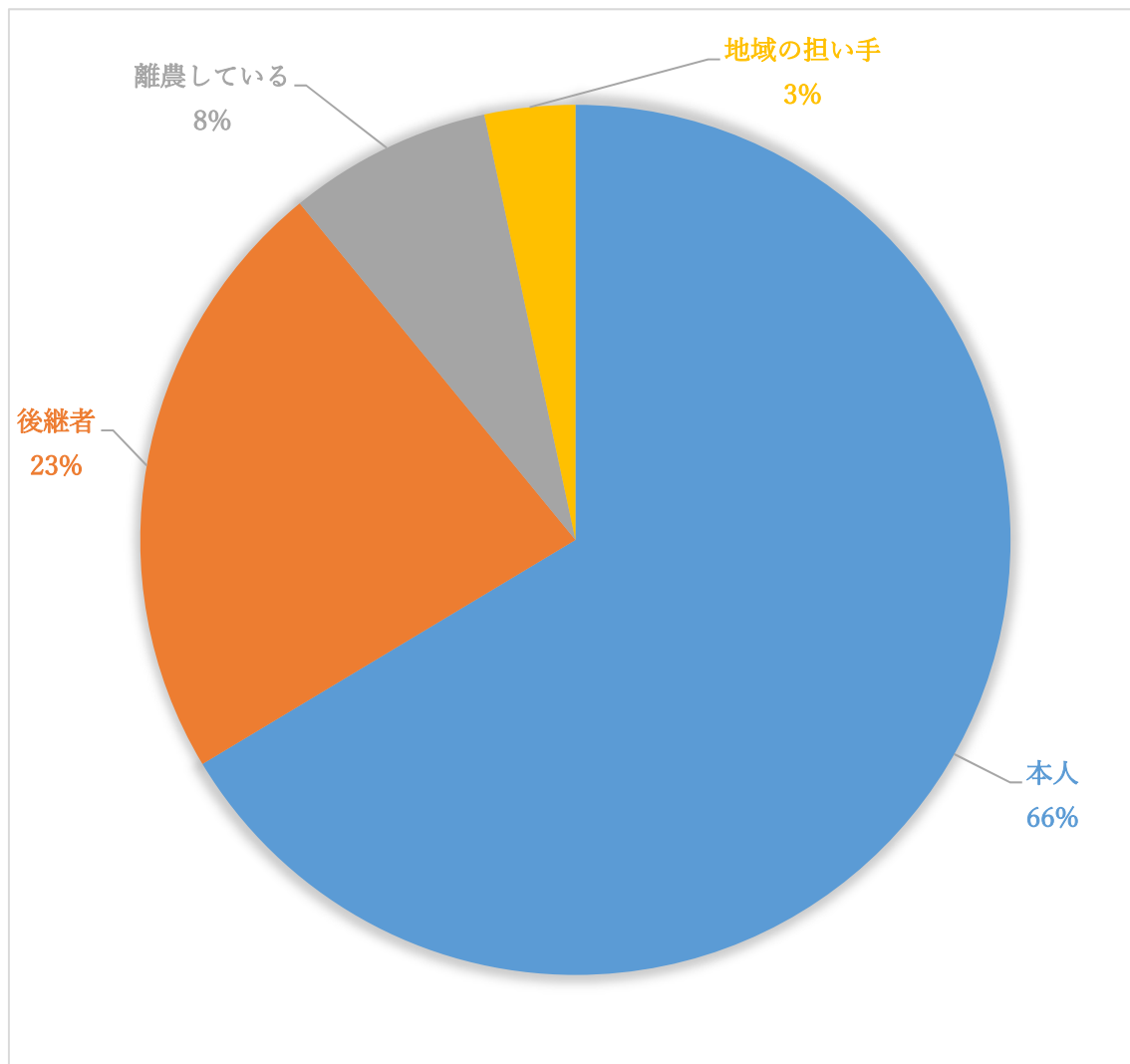
島内だけでなく島外にも農業分野の求人をアピールするためにも、ぜひ【無料職業紹介所】をご活用ください



7. 10年後の農業経営主体は誰だと考えているかについて

半数以上の農家さんが10年後も自身で営農していくという結果になりました。

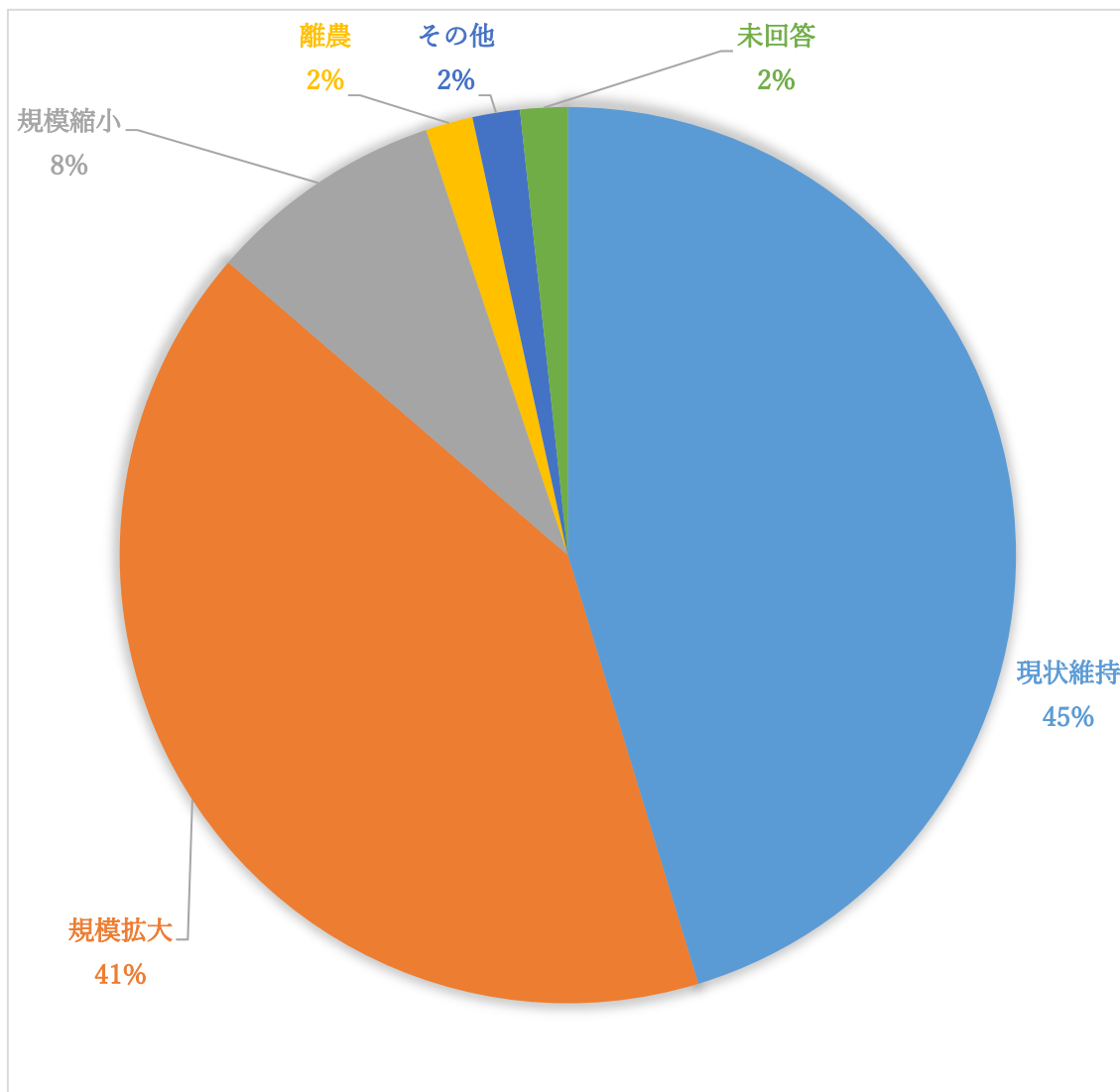
一方で「離農している」と回答した農家さんも10%近くいらっしゃいました。本町では現在も1名あたりの耕作面積が広く管理が難しい現状にありますが、今後はさらに1名あたりの耕作面積が広がる可能性があることも分かりました。



8. 今後の農業経営について

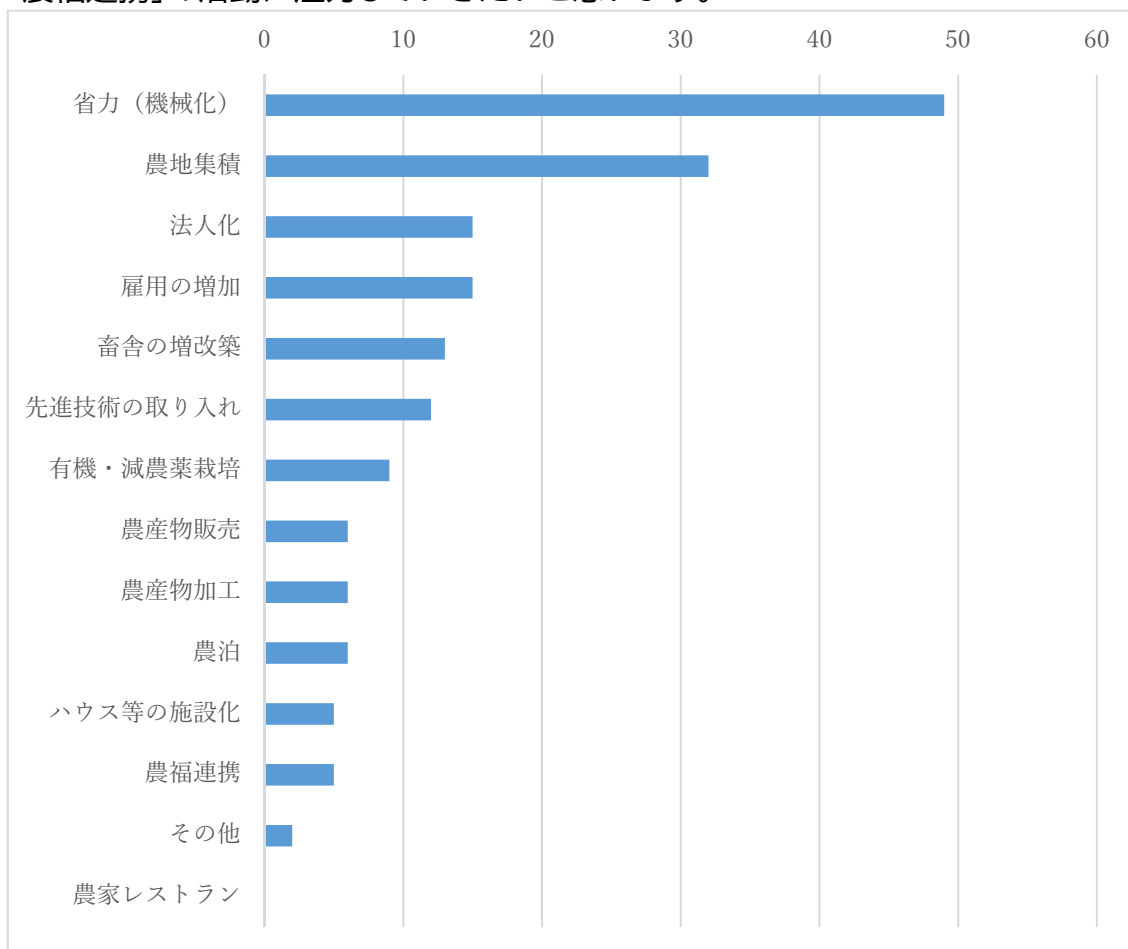
「現状維持」又は「規模拡大」と回答した農家さんで約90%近くの回答になりました。

一方で「規模縮小」や「離農」と回答した農家さんも約10%いらっしゃいました。規模縮小や離農された農家さんの耕作地を遊休農地・耕作放棄地にしないように注意が必要です。農地を貸したい・売りたい方は、農業委員会(65-3692)までご連絡ください。



9. 今後の農業経営で具体的に取り組みたい内容について

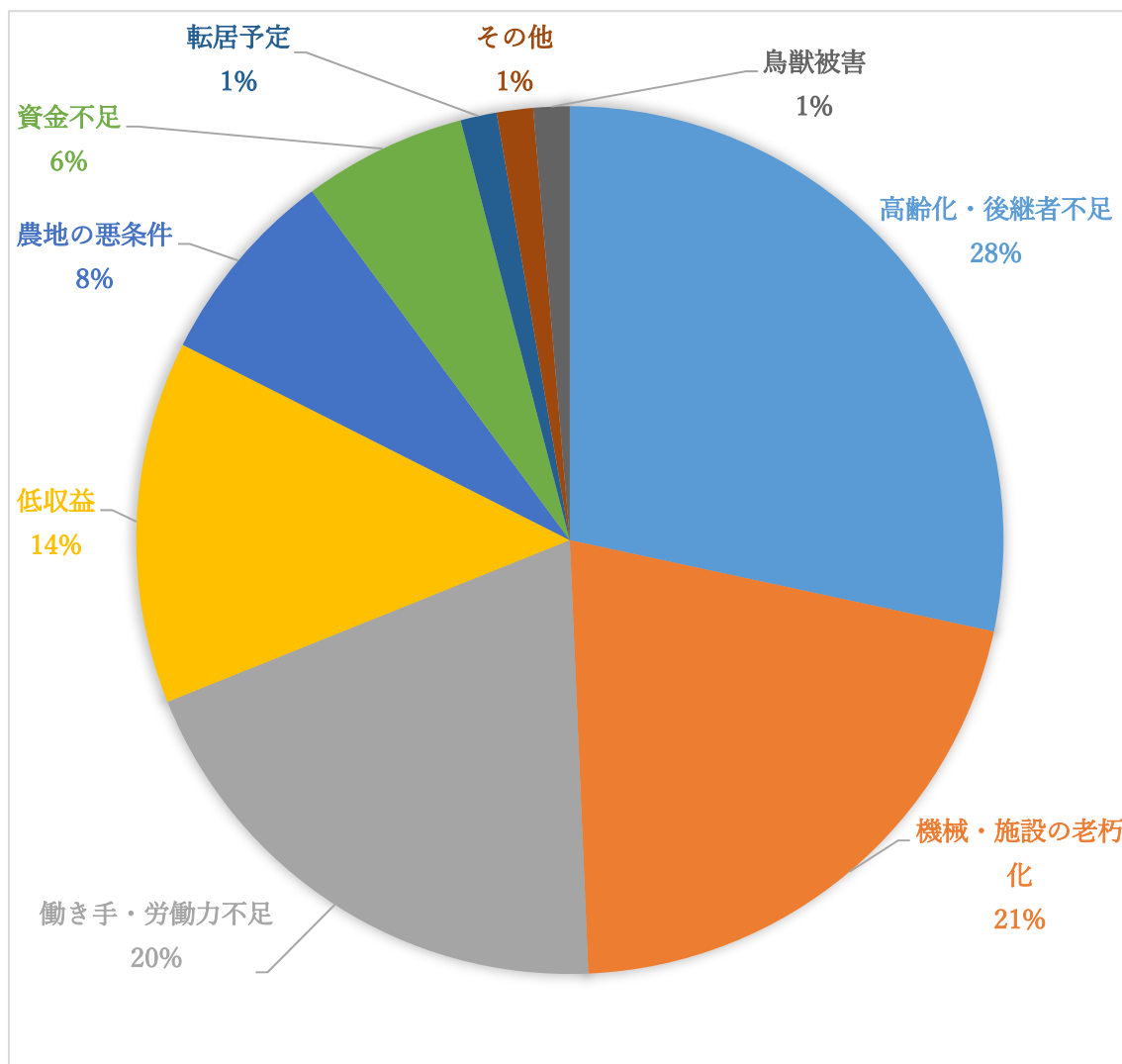
農業機械を使用し省力化を進めたいと回答した農家さんが非常に多い結果となりました。一部の農家さんでは「農福連携」に組みたいと回答した農家さんもいたため、障がい者や高齢者が農業分野の人手不足解消に繋がるよう、役場でも「農福連携」の活動に注力していきたいと思えます。



10. 規模縮小・離農を希望すると回答された理由について

「高齢化・後継者不足」と「働き手・労働力不足」の回答で約50%を占めています。農業分野における人手が不足し、現状の管理が難しく収益の低下や、農家の減少に繋がっているものと思われます。

機械や設備の老朽化については、農業機械購入の補助を町単独でも行っておりますので活用していただけたらと思います。

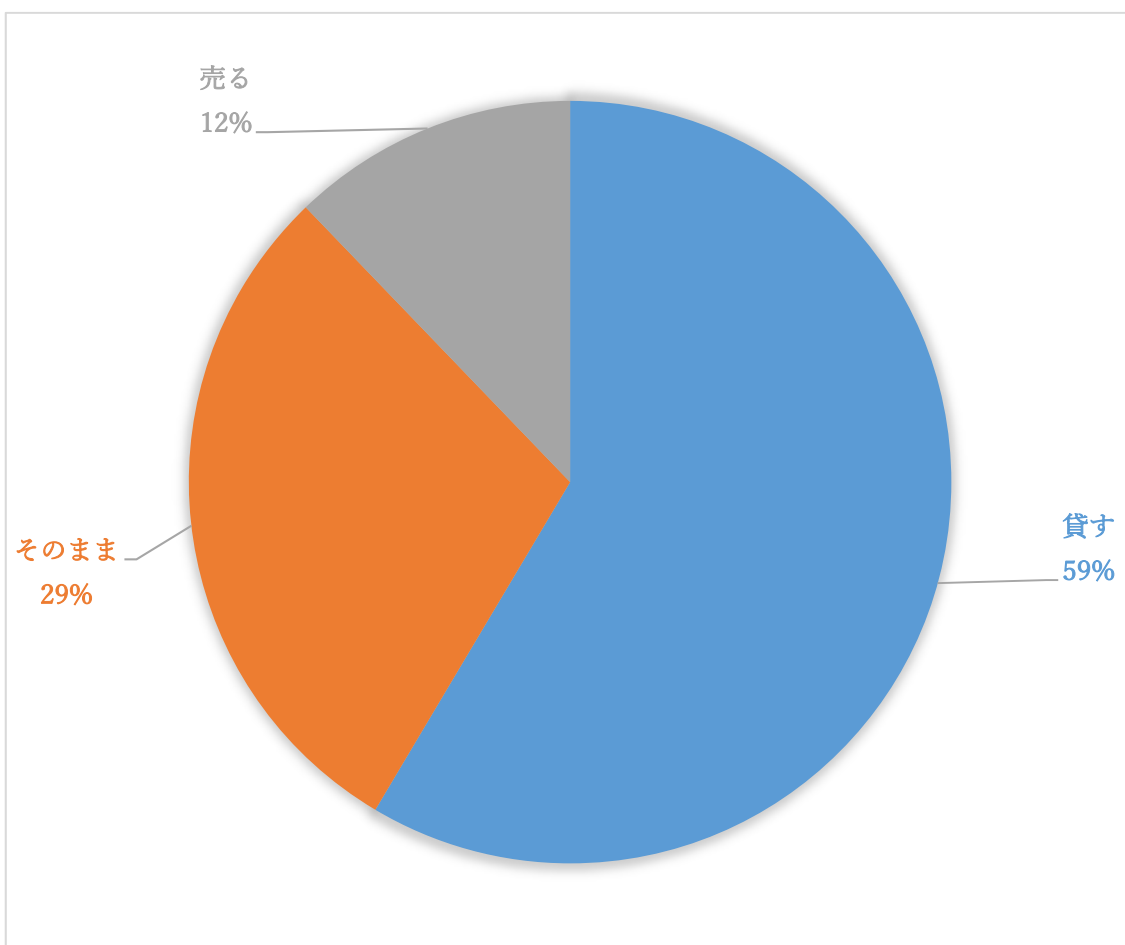


11. 規模縮小・離農した後の「農地」について

半数以上の方が「貸す」又は「売る」と回答されています。農地の貸し借りや、売買を行うためには、役場を通じて手続きが必要です。詳しくは農業委員会(65-3692)までお問合せください。

一方で「そのまま」と回答した農家さんもいらっしゃいました。農地は放置すると荒れてしまい、復旧させるのにも莫大な費用が掛かってしまいます。

畑を借りたくても借りられないと困っている農家さんもいますので、役場にご相談いただければ仲介をさせていただきます。



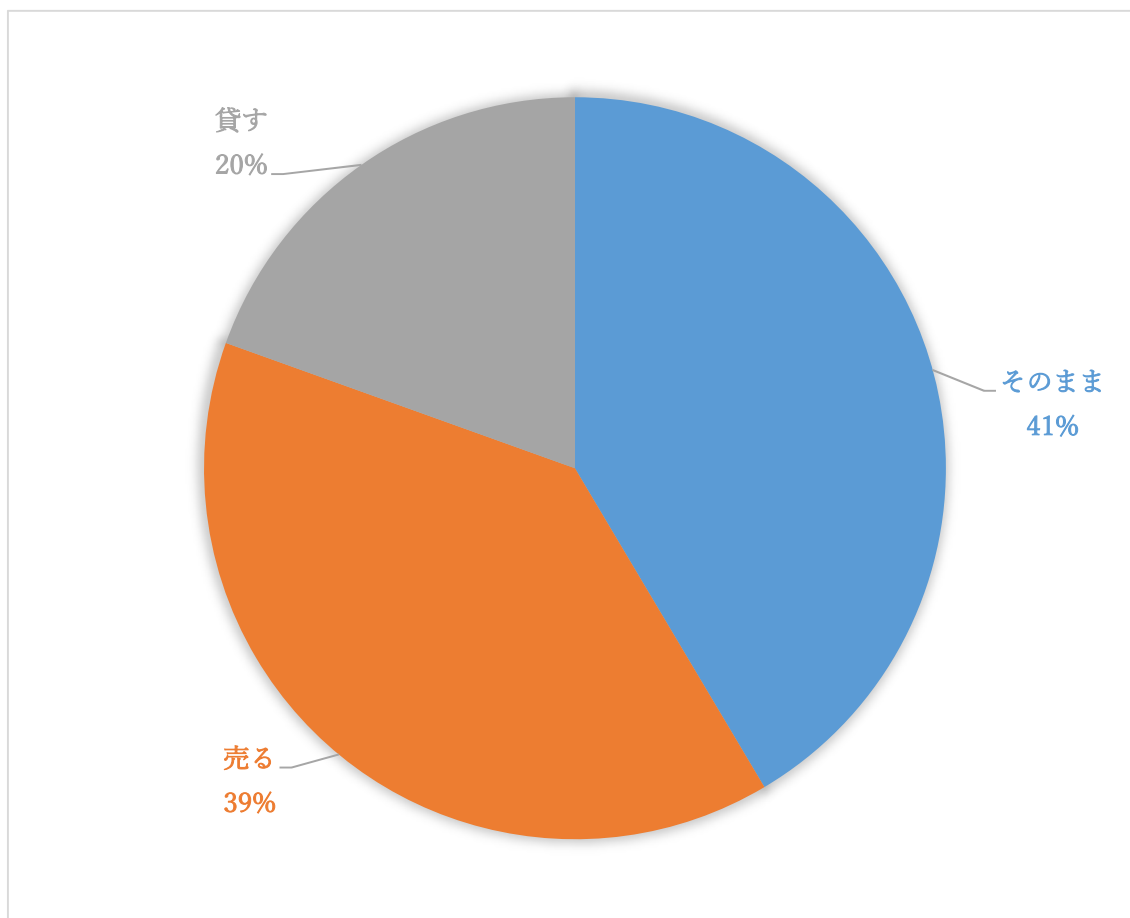
12. 規模縮小・離農した後の「農業機械」について

「貸す」又は「売る」と回答された農家さんが60%近くの結果となりました。

一方で「そのまま」と回答された農家さんが40%弱いらっしゃいました。

一旦長期放置してしまうと、いざ使用したい時に多額の修理費用が掛かる可能性があることや、使わない農業機械(トラクター等のカバープレートを取得しているもの)にも税金が掛かる等のデメリットがあります。

新規就農者の方など農業機械を必要としている方も多数いらっしゃいますので、長期放置せず貸したり、売ることもご検討いただければと思います。



13. 人材確保を行う上で、喜界町からどのようなサポートがあれば良いと思うかについて

自由記述となっているため、回答いただいた内容を箇条書きで報告します。

- ①空き家の整備や改修を行うための補助を行い、IターンUターンしたい人向けの住居の確保を行ってほしい。
- ②働きたい人と労働力が欲しい人が、お互いの情報をネットで見れるようにしてほしい。
- ③若い人が子育てを安心して出来るように、収益が確保できるよう補助してほしい。
- ④働きたい人と労働力が欲しい人が、マッチングできる場所を作ってほしい。
- ⑤牛の競りに日払いで協力してくれる人材を探してほしい。
- ⑥耕作者を募集している農地を紹介してくれるシステムを構築してほしい。
- ⑦農業技術指導を行ってほしい。
- ⑧高収益作物の導入を補助してほしい。
- ⑨農薬の助成をしてほしい。
- ⑩農家が儲けることが出来る事業を教えて欲しい。
- ⑪人材派遣の取り組みを行ってほしい。
- ⑫農福連携を推進するために「人材育成研修」を行ってほしい。
- ⑬小規模農家の農薬散布を受託してくれる団体を設立してほしい。
- ⑭キビ苗の採取の期間に、人材を確保できるようにしてほしい。
- ⑮人材を雇用するための補助金を出してほしい。
- ⑯農業経営に対する財政支援を拡充してほしい。
- ⑰求人情報を公開するシステムの構築。
- ⑱農業研修生の寮を整備してほしい。
- ⑲農業体験を希望する人材を紹介してほしい。
- ⑳畜産部門の機械導入に対して補助をしてほしい。
- ㉑害虫防除一斉散布を行ってほしい。
- ㉒適期に信頼できる作業受託組織を作ってほしい。
- ㉓機械化・IOT 活用を進めるための人材確保。
- ㉔移住者向けの住居の確保。
- ㉕シルバー人材センターの活用。
- ㉖アンケートの集計結果や、利用目的を教えて欲しい。